

③ 作曲指揮専攻 ※一般選抜（B日程）では、募集しません。

詳細は 10 月発表の入試要項で確認してください。

作曲「芸術音楽コース」

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。

「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。出願時に証明書の原本を1種類提出すること（文部科学省が公表した CEFR との対照表「A2」以上）

- ・ ケンブリッジ英語検定
- ・ 実用英語技能検定試験
- ・ GTEC
- ・ IELTS(Academic)
- ・ TEAP
- ・ TEAP CBT
- ・ TOEFL iBT®

~~2. 楽典~~

~~3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲~~

~~別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。~~

~~4. 聴音 旋律聴音（8小節程度）..... 各専攻共通1題および専攻別1題~~

~~和声聴音 大譜表による四声（密集）、8小節程度~~

~~【問題例】 G dur ト長調 3/4 拍子 8小節~~



~~5. 副科実技（ピアノ）~~

~~（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）~~

~~（2）自由曲1曲（自作品は不可）~~

~~※（1）（2）計2曲で10分以内。暗譜。~~

6. 専攻実技

（1）和声（イ）転調および非和声音を含むバス課題（2時間）

（ロ）転調および非和声音を含む課題ソプラノ課題（2時間）

（2）作品提出 1曲ないし2曲（組曲は1曲とみなす）

※編成、演奏時間は任意

※出願書類に同封できない場合は別送可。

（3）面接 10分程度（作曲を志した動機等）

作曲「ミュージック・メディアコース」

詳細は 10 月発表の入試要項で確認してください。

入学試験科目 ※大学入学共通テストの「外国語」は課さない。

~~1. 楽 典~~

~~2. 新曲視唱—8小節程度の旋律を1曲~~

~~別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。~~

~~3. 聴 音—旋律聴音（8小節程度）.....各専攻共通1題および専攻別1題~~

~~和音聴音.....高音部譜表による三和音、4小節程度~~

~~〔問題例〕 a moll イ短調 2/2 拍子 4小節~~



4. 専攻課題

(1) 伴奏付け（譜面作成とそのピアノ演奏）

- ① 与えられた旋律に対して「伴奏／コード付け」を行う。
- ② ①で「伴奏／コード付け」した結果を、ピアノで演奏する。

(2) 和 声

- ① 転調を含むバス課題。
- ② 簡単な転調および非和声音を含むソプラノ課題。

~~-(3) 小論文~~

~~当日出題される課題について、簡単な文章を書く。~~

~~-(4) ピアノ演奏~~

~~自由曲または自作曲のピアノ演奏。楽曲の選択は、クラシック、ポピュラー等ジャンルを問わない（ピアノ独奏のみ。伴奏用音源等は使用不可）。~~

~~（注1参照のこと）~~

(5) 面 接

作曲に対する意識、今後、作曲家となるべく努力する姿勢、意識を問う。特別な音楽的能力を有する者は、面接でアピールすることができる。

（注2参照のこと）

(6) 自作曲の評価

面接時に自作曲のデモ音源、楽譜（スコア等）を持参すること。

（注3参照のこと）

注1 ~~ピアノ演奏について~~

~~基本的なピアノ演奏能力を知ることが目的であるため、注意して楽曲を選ぶこと。曲名、作曲者名は、専攻別曲目記入票に詳しく正確に記入すること。~~

注2 対面による面接について

- ① ギター、ベース等の楽器演奏を希望する場合は、楽器を持参すること。ギターアンプ、ベースアンプは備え付けのものを使用する。ドラムスの演奏を希望する場合は、備え付けのセットを使用すること。ただし、スネア、ペダル、シンバルは持ち込みを可とする。スティックは持参すること。
- ② 楽器演奏を希望する楽器名、楽曲名は専攻別曲目記入票に記入すること。
- ③ 電子オルガン等、複数人での移動を必要とする大型楽器の持込みは不可とする。その場合のアピールは、映像資料を用意すること。
- ④ 映像資料でのアピールは、①USB メモリに記録したデータ、②Blu-ray、③DVD、いずれかでの視聴とする。視聴できない場合のバックアップとして、必ず2つ以上のメディアを持参すること。
※ バックアップに限り、④ノート PC やスマートフォン等の持参も可とし、①～③のメディアが再生できない場合、④の提出を求める。

注3 自作曲について

- ① 音源は、自作曲のみを記録した USB メモリを面接会場に持参し、提出すること。複数曲可。その際、データ名に再生希望順を明記すること。また、バックアップとして必ず他のメディア（CD、ノート PC、スマートフォン等）に記録したものも持参しておくこと。（USB メモリで再生できない場合、これらのメディアの提出を求める。）
- ② 楽曲自体を考察することが目的であるため、録音状態、使用機材等は問わない。楽曲のスタイルは自由だが、楽曲のデモとして十分な状態を満たすこと。
- ③ 面接時に楽譜（スコア等）を5部持参すること。簡易でもよいので製本をすること。視聴後、楽曲の部分的な演奏を指示する場合がある。その場合、使用する楽器は基本的にピアノとする。

※ 持参・提出する USB メモリに記録するデータフォーマットは、以下の通りとする。

- ・ 音源：WAV、または mp3
- ・ 映像：mov、または mp4

※ 持参・提出する USB メモリは、新品を用意するか事前にフォーマットを施したものに保存するなどして、他の用途のデータと混在させず、面接時に必要なデータのみ記録しておくこと。

※ 持参・提出した USB メモリをはじめとするメディアは、面接終了時に返却する。

※ 提出した楽譜（スコア等）は、返却しない。

※ バックアップとして PC、スマートフォンなどを持参する場合、オーディオ再生用のケーブルは備え付けのものを使用する。ただし、電源ケーブル（充電ケーブル）は持参すること。

※ インターネット接続を必要とする再生方法は、一切認めない。

指揮試験は「対面式」のみで実施

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。

「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。出願時に証明書の原本を1種類提出すること（文部科学省が公表したCEFRとの対照表「A2」以上）

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定試験
- ・GTEC
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

2. ~~楽典~~

3. ~~新曲視唱—8小節程度の旋律を1曲~~

~~別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。~~

4. ~~聴音—旋律聴音（8小節程度）.....各専攻共通1題および専攻別1題~~

~~和声聴音.....大譜表による四声（密集）、8小節程度~~

【問題例】 G dur ト長調 2/4 拍子 8小節



5. ~~副科実技（ピアノ）—副科実技の内容を専攻実技の演奏実技に加えます。~~

~~（1）J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）~~

~~（2）古典派ソナタより任意の1曲（第1楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること）~~

~~※いずれも暗譜で演奏すること。~~

6. 専攻実技

（1）聴音：旋律（単旋律、二声および四声）の書き取り（四声は木管四重奏の録音による）

（2）全ての音部記号を用いた旋律の初見視唱

（3）簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い

（4）スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲）

（5）指揮実技

（イ）2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は2台のピアノによる）

（ロ）ロッシーニ：歌劇『セビリアの理髪師』序曲（ブライトコプフ版）（演奏は2台のピアノによる）

（ハ）ハイドン：交響曲 第99番 変ホ長調 Hob. I:99（ランドン版）（演奏は2台のピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスによる）

※（ロ）（ハ）は暗譜で演奏（指揮）すること。

(6) 演奏実技

- ① J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）
- ② 古典派ソナタより任意の1曲（第1楽章または終楽章。専攻別曲目記入票に楽章を明記すること）
※いずれも暗譜で演奏すること。
- ③ ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可

(7) 和声（バス・ソプラノ課題「初級程度」1時間）

(8) 小論文（1時間）

(9) 口述試問